「みどりの食料システム戦略」説明会のご案内

2023年7月25日（火）10時～12時　所沢市寿町27-7コンセールタワー2F
所沢市男女共同参画推進センターふらっと会議室
説明者：農林水産省 関東農政局 消費生活課長　荒田耕士氏朗氏
共催（申込先）：食を通して所沢を知る会・所沢の自然と農業サークル・地球環境に学ぶサークル
中原幹男 nakaharamikio1949@gmail.com

みどりの食料システム戦略とは　～農林水産業の環境負荷低減で持続可能性向上目指す～

2022.11.07 菊池結貴子　日経バイオテク

国内農林水産業の生産力強化や持続可能性の向上を目指し、2021年5月に農林水産省が策定した食料生産の方針。農林水産業に伴う温室効果ガスの放出や、化石燃料由来の肥料の使用量を減らすといった環境負荷の低減策が中心となる。その他、水産業において天然種苗の採捕量を減らすなど、生物多様性に与える影響を減らそうという取り組みも含む。

数値目標として、2050年までに（1）化学農薬の使用量を50%低減、（2）輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減、（3）耕地面積に占める有機農業の面積割合を25%に拡大、（4）ニホンウナギ、クロマグロなどの養殖で人工種苗比率100%を実現、（5）林業で、成長性の高い苗木を苗木全体の9割以上に導入――などの達成を目指す。また、農山漁村への再生可能エネルギーの導入、事業系食品ロスの最小化も狙う。